# 旧佐川邸の公園化を考える会 議事録

令和2年11月8日13時00分～15時00分＠上水南公民館

出席者：13名（敬称略）

設計事務所　S、S

小平市議：竹井、水口、安竹（氏名順）

記・安竹

当日配布資料：特になし

頂いた資料：ご講演の資料PDF

設計事務所のS氏とS氏がコンセプトの原案をご検討くださり、お話をしてくださいました。

## **公園コンセプトづくり（案）についてのお話**

＊内容については、頂いた資料をご参照ください。

前回の公園整備の方向性をもとに、佐川先生の書籍なども読み、背景も知り、その上での方向性の話。書籍から拾い出した言葉から。「調和」。

思いが残っているものを（ある程度なくなっているが）、残していくことが大切。

* コロナ禍での公園のあり方：誰もが健康であるために

コロナ禍で、普段子どもが集まっていないような公園に、たくさん集まっていた。広い公園、歩いてみるだけでも大勢の人が来ていた。緊急事態宣言が出たとき、子供が集中する遊具は使えないようにしてしまうということが、特に大きな公園で良く見られた。２ｍ離れて遊びましょうという意識付けをしている状況もある。ストレス解消の場所と時間、それに加えて健康上の利点。

* これからの公園整備のあり方
	+ ラジオ体操
	+ ヨガ
	+ バランスボールを使った体操
	+ 棒を倒すような子どもの遊び
	+ ケータリングカーに来てもらう
	+ 飲食からの健康も
	+ 街中食堂（一人で来ても人と交流ができる）

# **質問・意見等**：

* 今までの経緯として、住民から、あれができるか、これができるかといった話は上がってきている。住民が希望する、役に立つもの、今まで上がってきたものの実現可能性を見ながら詰めることも大事。小平市の財政課・公園課と話しをしてきて、門前払いという状況だった。具体的な案も蹴られてきた経緯がある。その交渉の部分をなんとかしないとならない。そうでないと、案を出しても蹴られてしまうのではないか。小平市は、小平市で作ったコンセプトがある印象。こちらからコンセプトを出して、予算が取れれば作ってくれるのかというと、どうだろうかと感じるところがある。小平市はこれまで「公園はこういうもの」と押し付けてきたところがあるようで、それを通すために予算も上げ、つじつま合わせている気がする。公園課の担当者は変わったが財政課はそのまま。コロナを考慮して柔軟にやっていく意思があるのか。最初は市民主体という話もあったが、（以前）担当者が変わった時に180度話が変わった。
* 良いコンセプトを作って、お金も集まれば、市との話も進むのではないかということで、いまコンセプトを作っている。
* （S氏）いままでいくつか提案が出ていることはうかがっている。行政としてこれまで当たり前のように整備して、という方向では今後維持管理ができなくなってくるので、市も変わる必要がある。こちらとしても、皆さんの考え方を整理して、どういう提案ができるかを示した方が良い。住民の意向と、地域の住民でできる範囲でやっていくという心意気を、市にしっかり見せるなど。
* Well beingなどのコンセプト、コロナ禍も含めてというところ、本当に同意する。そのコンセプトに反対する人はいないと思う。理想的で、期待がもてた。公園を抜きにしても、いろいろな人に見てもらいたいと思う内容だった。一方で、今ご意見にあった、「小平市が・・・」という話も納得できる。そうすると、改めて市民としてできることがあるのかと感じる。途中から参加させていただいているが、「あの木がなくなっちゃったんだ」という思いがあった。そうなるまではいろいろな方が努力されたはず、それなのに市は木を切ってしまったり、石も捨ててしまったり。今後市民としてどういうことをすればよいか、何ができるのか。佐川邸跡地のことを知らない方がたくさんいる。私ですら気づいたのが遅い。コロナ禍もあって、みんなの思いは一緒のはず。無理な形ではなく、こういう場に来られない方々でも、ひとつの方向に向かっていけるようなことがあればいい。公園をどうするかという以前に。小平は生ごみを集めて堆肥をつくるというのをやっている。呼びかけたが、最初はまったくやっていなかった。今は全員やっている。ゴミ袋有料化のこともあるかもしれないが。なにかちょっとしたきっかけで、人が集まることがある。そういう形でできればいいなと思う。
* 小平市は閉鎖的で、最初にコンセプトを作ると変えない。まず今の案を白紙撤回させてから住民の人が新しいものを持って行かないと、受入れられないのでは。
* 周辺の人たちが署名など。
* 木を残してほしいという署名は集めて出したことがある。相当苦労してやっても切られてしまった。市の立てた案がほとんど変わらないような。
* （安竹）担当課は、基本的にアイデアを持ち合わせていないようだ。時間がないなどもあって、新しいことを考えている余裕がない印象。過去のパターンが使えるなら楽なので、そういう方向性になってしまう。そこに、市民が新しいアイデアで、あちらとしても筋があると考えられるものを持っていけば、受け入れてもらえると思う。
* 役所でできること、できないことをはっきりさせていただきたい。
* （S氏）前回、市の予算、タイムスケジュールの話があった。コロナ禍で公園のあり方を考え直すいい機会。アンケートをやりましょうという話もあった。こういう状況の中でどういう公園にしたいかを示した上で、アンケートを行うのが良いのでは。
* 先日小平市の番組があったが、文化レベルで残した方がいいものがたくさんある。市議さんも、市とのやり取りをする中で、そういったものに含めて、佐川道場の跡地を入れてほしい。
* このコンセプトは無理がない。時代の流れにも沿っている。とても納得できる。小平市としてマイナスではない。小平市はなぜこういうスタイルで話を進めてこなかったか。
* （安竹）やはり、担当課はそういう発想がないと感じる。いままではコンセプトがなかったが、今回のように筋ができれば、受け入れてもらいやすくなるのではないか。
* 小平市は公園の数が東京の26市の中で4番目に多いが、面積は18番目。小さい公園がたくさんある。315の公園があるが、今回の公園よりも大きいのは4割で、残りの6割はもっと小さい。公園課はたくさんの公園があり、手一杯の状態でいると感じる。今回の合気公園のコンセプトはとても良いと思う。315の似たような公園の中で、合気公園は特色のあるものにならないといけない。ちなみに315のうち10の公園が、水辺のあるところ。井戸のある公園はない。池、石の道路、日本庭園、安全安心、災害の対応、ということを考えると、小平の公園で初めての井戸を作れたらと思う。新聞記者からは「新しく井戸を設置する話があれば記事にしますよ」ということを言われている。マスコミは取材してくれる。クラウドファンディングで井戸を作り、今ある日本庭園を使うということ。小平市の市役所は、新しいことを自分からやるということはないが、新しいことを持っていけば門前払いはない。「市に頼らない」という気持ちでなければ何も進まない。市民が主導してやらないといけない。
* 市に頼ることはしたくないが、できることは何かを聞いておきたい。
* クラウドファンディングで300万円集まれば、井戸も作れて手数料も払えると考える。今の日本庭園を生かして、横に井戸をつけて、水をくむということも健康にもなる。
* （安竹）これまでの答弁を見ると、公園に最初から井戸をつけて欲しいという話で市に持っていくと、200万円などの金額ではできないというような話になる。なので、まず「市民主体で井戸を設置しても問題はないか」市に掛け合う方向が良いと思う。
* 今までいろいろなアイデアが出ているが、我々の案として一つの案にまとめて持っていきたい。
* （安竹）今後の進め方としては、Sさんご提案のコンセプトがとても良いと感じるので、住民の方々の同意が得られれば、このコンセプトをそのまま採用して進めても良いのではないか。公園の設計図としては、原っぱの状態のプランで。ただしコンセプトによって裏にストーリーが生まれているので、何もないわけではないという。
* コンセプトはそのままで良いと思う。佐川先生の思いを残すようなところ、残してほしい。
* （竹井）土地を売る・売らないの話はどうなっているか。これは売らなくてもできるということを持っていくための案だったか。心配しているのは、相当来年の予算が厳しいので、公園にどこまでお金を使えるかが見えない。悲観的な意味ではそこを気にしている。明るい意味としては、市長が変わる可能性もある。もし市長が変わるなら、その市長に対し、マニフェストに盛り込んでもらう方法がある。現市長が再出馬するとしても、そのマニフェストに組み込んでもらう。現市長は、ふるさと納税を進めると言っていたので、それをとらえてやっていくというのはあると思う。今度の予算は骨格予算になる。次の市長が改めてそこに肉付けをしていく。細かいところで佐川公園にいくらといったところはないが、次の市長に考えてもらうというところ。
* （安竹）マニフェストにぶつけるのは良いアイデアだと思う。ただ、現市長がやると言っても企画政策部長がやらないといったら、企画政策部長の考えの方が通っている状況は気になるが。いずれにしろ、市長選のタイミングに向けて準備するのは良さそう。公園のコスト計算がある程度できていることは理想だが、時間的に難しければ、少なくとも、コンセプトについて住民の同意が取れていること、アンケート調査も終わっている、という状況が良いのではないか。
* （水口）選挙のときに市長候補にアンケートを取ることもある、そこに持っていく方法もある。
* ここちよさということであれば、東屋がほしい。屋根で雨を防げると、人が寝てしまうので、屋根は設置しない方がいいという考えもあるというが、小平団地にもあるような、日を遮れて、雨は通る、そういう東屋を設置してほしい。
* （安竹）新しい担当課に聞いたところ、東屋はできないわけではないと言っていた。ただ、やるのが大変なため、積極的にやりたいとは思っていないのだろう。
* （S氏）東屋は建築の申請をしなくてはならいので手間暇がかかる。できないことはない。基本的には建てられるはず。
* 灯篭のあたりにベンチがあれば。年配の方もけっこういらっしゃるので、ベンチも必要。
* （S氏）個別になにができる、何を作るかといった話は、話が進んでいくなかでつけていけばよい。
* そういったところは後からできる。
* 前回・今回と参加者が少なく、近隣住民の皆様の関心が薄くなっているのではないかと心配している。関心を改めて持っていただく意味も含めて、近隣住民からアンケートを取ることはどうか。
* （S氏）いったん中でもんで、自治会にもアンケートを取っても良いと思う。アンケートを作るにあたって、こういうコンセプト、こういう経緯でこういう公園にしていきたいとうところを説明し、どういう公園を欲しいですかといった意見をうかがう。周辺の公園は使われていない状況がある中で、自分たちが普段利用したいと思える公園はどのようなものでしょうか、といったアンケートを。
* なかなかアンケートを配っても、答えてもらえないのでは。
* 市長選へ出る方へのアンケートと、周辺住民の方へのアンケート、二種類を作ればいいのでは。
* 今後どう進めていけばよいか。
* （S氏）どういう公園にしたいというところを整理し、市に提案できる筋道を踏まえて「こういう会でこういうコンセプトで、こういう風に整備したいと思っているが、どう考えているか」といった、アンケート、ヒアリングを住民などに行ってはどうか。
* （安竹）ここのメンバーで分担して、各家を回ってヒアリングなどして、アンケートに回答を書いてもらえばよいのでは。
* 前回は周辺から意見を徴収して、木を残してほしいという話が集まり、署名も市に提出したが、それでも木が切られてしまった。そのことに住民の人たちががっくりしていると思う。
* （S氏）コロナ禍で時代が変わっていく中で、何がほんとうに大事か、そういう視点で、再度市にも考えてもらう。
* 公園のイメージとして、ほとんど何もなくて、足したり引いたりできる、変化のできる公園が現実的なのではないか。
* 合気公園とは別に、井戸の会として、どこかの公園に井戸を作りたいと思っていた。公園課と話し合いを近々しようと考えている。その際に、この公園と特定せず、提案してみる。そういう方向で一歩進めていければ。誰が管理するかという話になるが、こちらでやるということにすればよい。井戸を寄付できるかを確認する。下水については、他市では地面にしみこませている状況もあるので、できるはず。
* （S氏）自治体まかせでない公園のあり方を整理して、この中でできることを考えていく。もう少し落とし込めるのはどうなのかというところを、こちらでもう少し検討してみる。アンケートのたたき案もこちらで作ってみる。
* （安竹）今までのアイデアを、箇条書きにでもご参考としてSさんに送ることも。
* お金については、また別のところがあるので、議員の方でなにかアプローチしてもらえれば。
* ふるさと納税を使わないという点については企画政策部長がなかなか意固地になっているところがある。
* （安竹）ふるさと納税を活用してほしいということで部長に訴えるとすれば、そういう仕組みがあれば「納税しますよ」という署名のようなものがあれば、訴求力になると思う。それを断ると市には損失になるという話で。
* 他の小さい、使っていない公園を売却するなりして現金化をすればよい。アンケートを取ると、市民の4割は公園を使っていない。6割くらい。使っていなくても、公園は災害時に使えるという意義が大きい。
* （S氏）体を動かすこともできるし、来る人と触れ合える。佐川先生の言葉で、考えるというところは、その公園で自分がやりたいことを考えて、子供が遊ぶときも遊具を用意するのではなく、起伏があったり、頭を使って考えられるようになっているなど。そこに佐川先生の考えを書いておくということも良いかもしれない
* 佐川合気公園という名前の方がいい。前は名前を入れるのはダメだと言われたが、公園課の担当者が変わったので通るかもしれない。寄付者の名前でもあるので。
* （S氏）調布の鬼太郎公園もクラウドファンディングを活用していた。

（<https://www.furusato-tax.jp/gcf/475> 参照）

## **宿題**

・K氏が、前回一般質問で井戸の話をした竹井議員と共に公園課と話をしにいく

・これまで出たアイデアをまとめて、S氏に送る

・S氏がアンケートのたたき台を作ってくださる

## **次回**

12月13日（日）13:00～

引き続きS氏とS氏のご協力のもと、小平市に提案する公園プランについての意見交換を予定

S氏から防災公園の話もしてくださる予定

以　上